~未来をひらく、働くための学びの場~
京都女子大学
リカレント
教育課程

令和７年度文部科学省

「女性の多様なチャレンジに寄り添う学びと社会参画支援事業」における
多様なチャレンジに寄り添う学び・社会参画支援モデルを構築するための実証事業

ウィミンズカレッジ（KNFSM）連携
マネジメント入門コース

運営報告書

ウィミンズカレッジ（KNFSM）連携

（京都女子大学・日本女子大学・福岡女子大学・
椙山女学園大学・宮城学院女子大学）

成果報告会目次

1. 事業の運営目的と概要 2
2. スケジュール/実施概要 3
3. 志願/修了状況 5
4. 受講生の属性 5
5. プログラム全体への満足度 9
6. 運営ポイント 11
7. 講座一覧 23
8. 時間割 24
9. シラバス 25
10. 主な広告媒体 36

１.事業の運営目的と概要

■運営目的

本プログラムは、企業や団体等で働く女性や就業を目指す女性が、ジェンダーに関する基礎知識・多様性への理解・自分らしいキャリア形成について体系的に学び、
組織内でリーダーとして活躍できる能力と視野を育むことを目的として運営する。
具体的には以下のような目的を包含する：

- ジェンダー平等に関する正しい理解の促進
- 無意識のバイアス（アンコンシャス・バイアス）への気づきと解消
- 家庭・職場・社会に存在する構造的課題の把握
- 多様な価値観を尊重したリーダーシップの育成
- 世代・立場を超えた対話を通した視野の拡大をはかる徳育
- 自分らしさを基盤としたキャリア形成の支援
- 企業・組織での改善行動につながる実践力の育成

【ターゲット】
本プログラムの主な対象者は、企業や団体等でリーダー、マネジメント職、管理職等を目指す女性、またはそのポテンシャル層（候補者）を対象とする。

■概要

今年度も京都女子大学、日本女子大学、福岡女子大学、椙山女学園大学、宮城学院女子大学の 5 つの女子大学および女性教育機関や企業と連携した。
それぞれの大学・女性教育機関・企業に女性リーダー育成の経験とスキルがあることから、多様な立場の女性を総合的に支援するマネジメント力養成の視点を活かし、それぞれの特徴的な講座を提供した。

2.スケジュール/実施概要(2025 年 5 月～2026 年 3 月)

5 月～

講座企画

連携機関と協働

女性のためのリカレント教育に実績のある 5 大学が協働したプログラムを開設。

（京都女子大学、日本女子大学、福岡女子大学、椙山女学院園大学、宮城学院女子大学）

＋

連携する団体や企業へプログラム提供を依頼。

＜女性教育関連団体＞

・(公財)市川房枝記念会女性と政治センター

・(独)国立女性教育会館

＜企業＞

・西日本電信電話(株)

・オムロンエキスパートリンク(株)

大学・団体・企業との連携

7 月～8 月

募集活動

広報・希望者への相談会実施

ホームページ開設

ホームページにてプログラム内容を詳細に公開し、応募した。

リーフレットの作成

リカレントを PR するリーフレットを制作。連携先企業中心に配布し、ホームページへの誘導をはかった。

その他、卒業生 DM、育英会メールマガジン、教育機関メーリングリスト、地域版フリーペーパーなど活用。

本学客員教授 池上彰氏を起用した説明会実施

説明会では、修了生とのパネルディスカッションを実施。リカレント受講後の変化やリカレントの魅力を修了生が生の声で伝えた。

個別相談会（リモート）の実施

ホームページへ個別相談会受付フォームを設置。個別の相談に一対一で対応した。

京都女子大学及び滋賀会場で対面説明会を実施

リモートに加えて、滋賀会場にて対面での説明会を実施した。

リカレントの詳細を告知
受講希望者へフォローアップ

9 月

オリエンテーション

選　考

面接の実施

学ぶ意欲、受講目的と講座の合致を基準に、応募者全員に面接（リモート）を実施。選考基準を定め、学内に選考委員会を設置し、公平な選考につとめた。

開講前コミュニケーション

ホームページに受講生特設ページを設置

気軽に質問できるフォームを鍵付きで設け、コーディネーターが対応。受講生の受講前の疑問へ応えた。

オリエンテーション実施

動画を制作し、学習システムやスケジュール、学習を進めるにあたっての注意点などについて、受講前に受講生専用ページで公開した。

オンライン中心の学習となるため、受講前から使い方への疑問点や不安の解消につとめた。

受講前フォロー

10 月～2 月

開講期間

オンライン講義での工夫

リアルタイムオンライン授業(Zoom)

グループディスカッション(ブレイクアウトルーム)ワークなどを取り入れた。座学だけでない講義で、講師・受講生同士のコミュニケーションを重視。

ハイブリッド形式での授業実施

講義の 4 回を対面・リモートどちらでも受講できるハイブリッド講義とした。講師と直接話せる対面授業を望む声は多く、関西在住の受講生中心に、大学で講義を受けた。教室に web360 度カメラを設置し、ライブ感を持たせた。

授業後のアンケート実施

出席確認と共に、各講義後には理解度を計るためのアンケートを実施し、講師と共有した。またアンケート結果を受講生への迅速なフォローに役立てた。

フォローアップ

専従のコーディネーターと TA が常駐

キャリアコンサルタントの資格を持つ経験豊富なコーディネーターと、パソコン講師である TA（ティーチングアシスタント）が受講生対応を行い、孤独になりやすく、パソコン操作で迷いやすいオンデマンド学習における不安を取り除けるように工夫した。

授業後のフォロー

各リモート講義後、質問時間を設けて、コーディネーターとティーチングアシスタントが対応した。
（メールでの質問にも随時対応）

キャリアカウンセリング

今までのキャリアの振り返りや今後のキャリアビジョンを明確にすることを目的に、外部のキャリアコンサルタントによる面談（２回）を希望者に実施した。

受講生同士のコミュニケーション促進・
受講生へのきめ細かなフォロー

2 月～3 月

講座終了後

ハイブリッド形式で成果報告会を実施

「今後、学びをどのように活かすのか？」をテーマに開催

学びを振り返り、今後、学びをどう活かしていくかをパワーポイントにまとめ、一人ずつ 4 分のプレゼンテーションを行った。
成果報告会での発表が自信を持ってできるようコーディネーターとティーチングアシスタントで、オリエンテーションや個別相談を実施。27 名中 20 名が大学で参加する盛会となった。



今後のネットワーク構築を支援

コーディネーターと TA の呼びかけで交流会を開催。10/25 初回講義後はハイブリッド開催した。対面開催は 12/13 リカレントシンポジウム後、および 2/28 成果報告会後に実施。
リモート開催は、3/7 修了後に実施。受講期間中に約２か月おきに交流会を持つことで、受講生同士のつながりを強化した。また修了後も 2020 年度修了生有志が運営する自主分科会「修了生の会」（学び続ける会）へ関心を寄せ、つながりを求める受講生が多くいた。2025 年度修了生の希望者が「修了生の会」のメンバーに加わり、互いの学びを継続していく基盤ができた。「修了生の会」は、３月７日（土）10 時～12 時に実施し、既存修了生と 2025 年度修了生の混合交流会（リモート）が実現し、大変好評であった。

修了後のネットワーク構築

３.志願/修了状況

定員	志願者数	合格者数	定員充足率	修了者数
25 名	37 名	28 名	132.1%	27 名

受講生 1 名が、「部署移動により、土曜出勤が増え受講困難になった。」と辞退を申し出た。

2 月 22 日（日）コーディネーターと TA がリモートによる面談を行い「今回のリカレントは女性活躍にとって、とても有益な学びと感じており、大変残念だが、職務に注力し、活躍を目指したい。」との本人の意思を尊重し辞退を認めた。

４.受講生の属性(n=28)

①年齢

20 代	3.6%
30 代	32.1%
40 代	32.1%
50 代	28.6%
60 代	3.6%

20 代から 60 代まで幅広い年齢層が受講

②子どもの有無

いる	69.2%
いない	30.8%

約 7 割が子どもを持ち受講

③子どもの年齢層

未就学児	8.0%
小学生	20.0%
中学生・高校生	28.0%
大学生、専門学校生	20.0%
社会人	16.0%
無回答	8.0%

子どもの手が離れて、受講を決意した人が 6 割以上にのぼった。

④学歴

高等学校卒	7.1%
短大・専門学校卒	21.4%
4 年生大学卒	57.2%
大学院卒	14.3%

4 年生大学卒が約 6 割。

⑤雇用形態

正規社員	75.0%
非正規社員 パート アルバイト	10.7%
自営業	7.1%
主婦	3.6%
起業準備中	3.6%

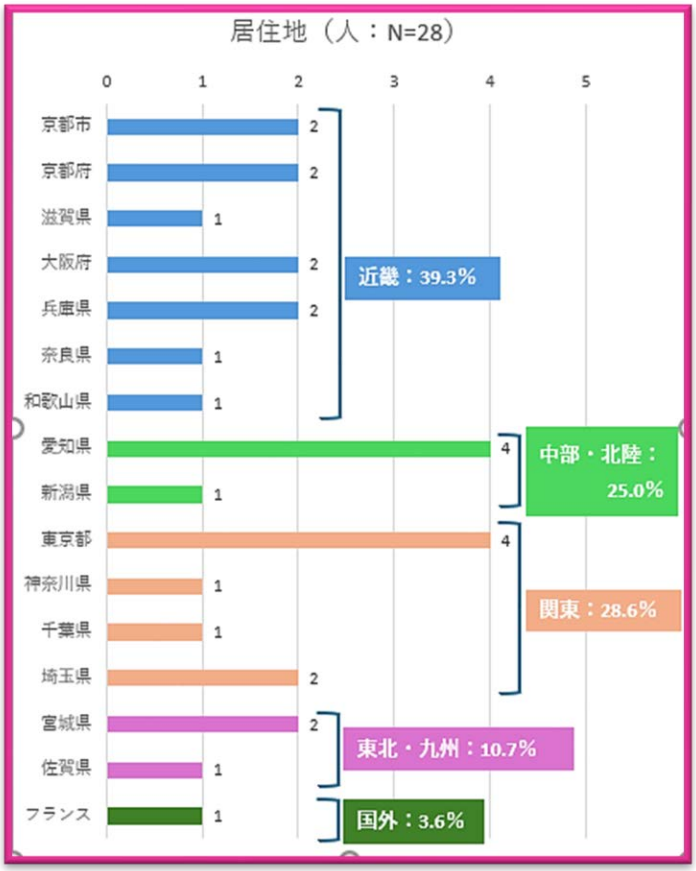
正規社員の割合が 7 割以上。非正規社員など幅広い層が受講。

⑥転職経験回数

転職経験なし	21.4%
1 回	10.8%
2 回	21.4%
3 回	21.4%
4 回	21.4%
5 回	3.6%

約 8 割が転職を経験。

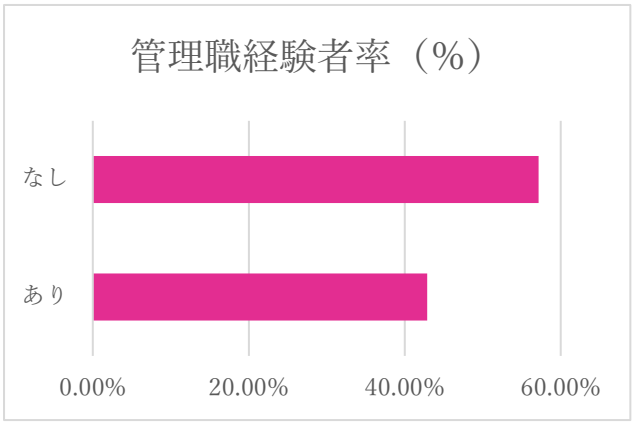
⑦居住地



関西圏以外から約 6 割受講。

⑧マネジメント経験の有無（入校時）

経験あり	42.86%
経験なし	57.14%



経験はないが、入校後マネジメントを学ぶ層の割合が６割弱

5.プログラム全体への満足度（n=26）

①自分のキャリアを考えるのに役立ったか。

大変役に立った	76.9%
まあまあ役に立った	23.1%
役に立たなかった	0%

100%がキャリアへの有益性を実感。

②実際の学びが目的に合っていたか。

目的に合っていた	96.1%
どちらともいえない	3.9%
合っていなかった	0%

ほぼ 100%が目的合致性を実感。

③リカレント教育課程全体への満足度

大変満足	76.9%
おおむね満足	23.1%

満足度が 100%。

④講座全体の難易度とカリキュラム指導への満足度

④-1　教材カリキュラム、指導内容への満足度

大変満足	53.8%
おおむね満足	46.2%

満足度が 100%。

④-2　プログラムの難易度

難しかった	11.5%
やや難しかった	34.7%
どちらともいえない	42.3%
簡単だった、やや簡単だった	11.5%

リカレント受講生の多様性からばらつきが見られた。

5割近くが難しさを実感するも、

教材、カリキュラム、指導内容へは

100%が満足。

⑤マネジメント力への自信について

⑤-1 入校時　マネジメント力への自信

まあ自信がある	7.1%
あまり自信がない	75.0%
全く自信がない	17.9%

⑤-２修了時　マネジメント力への自信

かなり自信がついた	15.3%
自信がついた	69.2%
あまり自信がない	15.3%

入校時の９割以上が自信をもっていなかったが、

修了時には８割以上が「自信がついた」へと好転。

⑥リーダーシップ力への自信について

⑥-1 入校時　リーダーシップ力への自信

まあ自信がある	32.1%
あまり自信がない	53.6%
全く自信がない	14.3%

⑥-２修了時　リーダーシップ力への自信

かなり自信がついた	23.1%
まあ自信がある	65.4%
あまり自信がない	11.5%

入校時の約３割だった「まあ自信がある」が、

修了時には約９割が「自信がある」へと好転。

6.運営ポイント

受講生のアンケートに見られる回答から、以下①から③のポイントが読み取れた。
以下では、ポイントごとの実施事例を紹介する。

① 世代・立場の異なる受講生同士や講師や運営も含めた“意見共有の場”を提供

「意見交換・対話の場」を講義外でも設けることで、学習意欲が高まり、受講生の視野に広がりがみえた。

◆交流会の実施

- 第 1 回交流会：10 月 25 日（土）＊ハイブリッド開催

心理的安全性のある環境についてコーディネーターが説明。一人ひとりが自己紹介を行った。入校式後に、対面参加者 15 名は茶菓を楽しみながら交流を深めた。



入校式の様子

- 第 2 回交流会：12 月 13 日　＊対面開催

リカレントシンポジウムに対面参加した 14 名でこれまでの感想や、学習の進捗、進め方のコツなどについて意見交換を行った。
授業中のディスカッションを通じて、顔見知りの仲間が増えていることもあり、和やかな雰囲気で会は盛り上がりをみせた。






シンポジウム後交流会の様子

- 第 3 回交流会：2 月 28 日　＊対面開催

成果報告会後に対面で参加の 20 名と福岡女子大学品川啓介（イノベーション・マネジメントとデザイン思考講師）も加わった。京和菓子を愉しみながら成果報告会の感想を話し合い、大いに盛り上がった。名刺交換を行い、今後の繋がりを確認する受講生が多く見られた。
今後の繋がりを求める声が多く聞かれたことから、2020 年度修了生が立ち上げ、有志が継続している自主分科会（学び続ける会）の案内を行い、今年度も希望者の多くが分科会の LINE へ参加した。






京和菓子を愉しむ交流会の様子

- 修了生の会：3月7日　＊リモート開催

修了後初めて、リモートにて18名が集った。今回は修了生の自主分科会（学び続ける会）の有志が、それぞれの得意分野を活かしたミニ講座を開いた。内容は下記の通り。

【知ることで強くなる未来準備講座　～Building the Future～】

1部　陶芸×地域の未来

～東山で紡ぐ、ひと・文化のつながり～

2部　キャリア×制度

～ライフイベントで損をしない知識を～

3部　マネー×自由



修了生の自主分科会の様子

◆リカレントシンポジウム（選択科目）・ハイブリッド講義の実施

12 月 13 日に本学客員教授 池上彰氏が登壇したリカレントシンポジウム（選択科目）を実施し、リカレント教育についての理解を深めた。また 10 月 25 日、11 月 22 日、2 月 7 日、2 月 28 日をハイブリッド講義とし、大学へ来て学びたい希望の受講生に機会を与えた。
ハイブリッド講義後には、対面での参加者へは、受講生同士だけでなく、講師やコーディネーター、TA とも自由にコミュニケーション出来る時間を設けた。


リカレントシンポジウムの様子




ハイブリッド講義の様子


講義後のディスカッション

② アンコンシャス・バイアスを自覚するための講義・ワーク設計

講座全体として体系的にアンコンシャス・バイアスへの自覚を促す構成を行い、ワークにより気づきを促した。特に、以下の講義ではジェンダーギャップやアンコンシャス・バイアスへの気づきを示す意見が多くみられた。

◆連携大学及び女性教育機関が協同で実施したジェンダーダイバーシティ入門①～④の講義

① 京都女子大学：リカレント教育とジェンダー平等の実現
② 独立行政法人国立女性会館：ジェンダー視点と女性のエンパワーメント
③ 宮城学院女子大学：地域女性とリーダーシップ
④ 公益財団法人市川房枝記念会女性と政治センター：女性と政治
～地域リーダーになるという選択～

リレー講義として提供することで、ジェンダーギャップの理解やアンコンシャス・バイアスへの気づき促すことができた。





① 京都女子大学　学長竹安栄子　講義の様子

◆ロールモデルセミナー

NTT 西日本提供講義：『～失敗から学ぼう！～女性が自分らしいリーダーとなるために』

企業のロールモデルとして登壇した講師の経験談、特に失敗談を自身のキャリアと重ね合わせて共感し、改めて自身の持っていた固定観念（アンコンシャス・バイアス）へ気づいたとする意見がみられた。





ロールモデルセミナー講義の様子

③ 自己理解”や“他者尊重”の価値観を促す徳育

講義が単なる知識提供だけではなく、意識と行動の変容を促す徳育をめざした。
講座全体として、「自分を大切にする→周囲も尊重できる→社会が豊かに」
という価値観の学びを実現し、「自己理解」「自己尊重」「他者尊重」「多様性の受容」などの視点が受講生最終アンケートよりみえた。

◆職場見学会（選択科目）の実施

西日本電信電話(株)　実施日：11 月 25 日(火)13 時～16 時

支援事業所 Kaien　　実施日：11 月 10 日(月)13 時～16 時

事業所名	参加人数
西日本電信電話（株）（大阪梅田グランフロント）	5 名
障がい者就労移行・支援事業所 Kaien(カイエン)（東京）	7 名

※平日の開催のため、仕事との調整が出来ない受講生が多く、参加者は全体の約 4 割にとどまった。

所属する企業とは異なる職場を見学し、事業内容や経営、職場での女性の働き方について知り、見分を拡げる目的で実施した。

関西圏だけでなく、九州や関東からの受講生も含まれるため、大阪、東京の 2 拠点を用意した。参加した受講生は、100%が「大変参考になった」と回答し、視野が広がったとの意見が多かった。

- 女性が活躍されている会社の実像を垣間見ることができ、自社にも取り入れていければと思った。
- 他の会社を見学する機会はないので新鮮だった。座談会では実際の自分の悩みにも答えていただき、回答がとても参考になった。
- 管理職の方の経験談が、今後の自身のキャリアを考える参考になった。



NTT 西日本　職場見学の様子

◆ブレイクアウトルームを取り入れた双方向で対話する授業の実施

各講義でアクティブに対話する時間を取り入れた。

- 可能な科目では、ブレイクアウトタイム時間を設け、受講生同士がグループディスカッションを行った。
- グループディスカッションを行うにあたり、入校時には、傾聴、積極的な参加、時間管理などの基本的な説明や練習をコーディネーターが行った。また各講義では、TA が講師のサポートを行うことで、スムーズなディスカッションが可能となった。
- 受講生からは、多様な経歴を持つ仲間と意見を交わすことが有意義だったとの意見が多数みられた。



ブレイクアウトルームにて（少人数ディスカッションの様子）

◆キャリアカウンセリングの実施

全国から受講があるためリモートで実施。希望者へ、自己理解を深め、将来のキャリアについてアドバイスを受けるキャリアカウンセリングの機会を設けた。キャリアコンサルタントは、外部機関から招き、相談しやすい体制とし、1人について2回のカウンセリングを受けられるように日程を設定した。

1回目実施期間：11月末～12月初　参加人数　15名

2回目実施期間：1月末～2月初　11名

カウンセリングを利用した受講生からは、「自己理解に役立った」「今後のキャリアについて方向性が見えた」と好評であった。

◆成果報告会

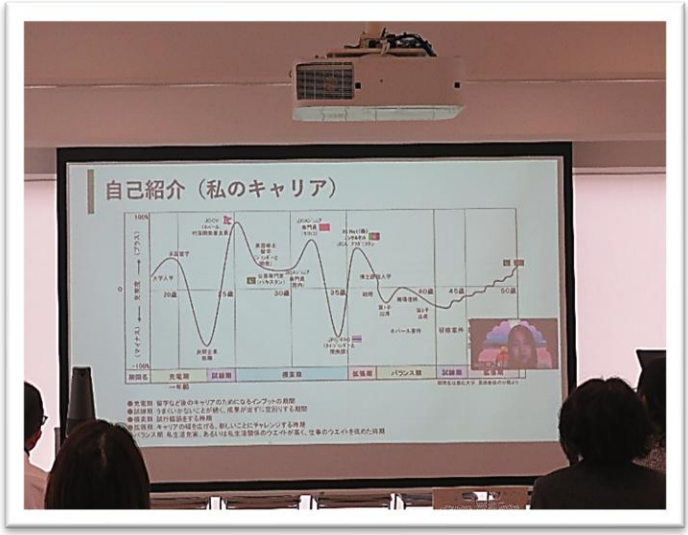
実施日：2025年2月28日（土）13時～16時

リモート参加者：6名　　会場（対面）参加者：20名

このコースでは、「人のマネジメント」「組織のマネジメント」「時間のマネジメント」「戦略的思考とリーダーシップ」など様々な分野のマネジメントに関し総合的に学んだ。その学びで「自身に変化を感じたか？今後、どのように活かしていくか？」というテーマで、ひとり一人が、パワーポイントを作成し、1人4分の時間設定で、プレゼンテーション形式で発表した。成果報告会は、プレゼンテーションの機会として役立つだけでなく、自身を見つめ直し、振り返る良い機会にもなっている。発表では、今後の目標を言語化し、上手く纏めている傾向にあった。また、リカレントの学びから、今後も自身を高めるための学びを継続したいという受講生が多く見られた



成果報告会開会の様子



リモート発表者の様子（会場モニター）



会場（対面）発表者の様子

◆その他フォローアップ

- 開校前のフォローアップ（説明動画公開）

受講生のみが閲覧できるページをリカレントホームページ内に設けた。開校前に、リカレントの学びの概要が分かるように、動画を掲載し、資料と合わせて分かりやすく説明した。

- 講師との事前打ち合わせ

講師とは、リモートにてコーディネーターと TA が事前打ち合わせを全ての科目で行い、スムーズに当日授業が進行していただけるよう心掛けた。講師とのコミュニケーションを深めたことで、講師側からも安心して授業に臨め、より質の高い授業が実現できたとの声をいただけた。

- 授業後の質問タイム設置

リモート講義後は、必ず毎回質問タイムを設け、コーディネーターと TA が質問にその場で対応することで受講生の学習の不安を解消した。リモートをつないで対話形式で行ったため、個別説明も可能となり、学習システムの質問などへより分かりやすく対応できた。

- 質問専用のボタンをホームページ内に設置

リモート中心の講義は孤独になりがちだが、いつでも質問や相談ができる専用のページを設けて、翌日までのメール返信をコーディネーターと TA で行った。
「運営側のきめ細かい対応や伴走があったので、最後まで頑張れた」との感謝を示す意見が最終アンケートや修了式後に多くみられた。

- 成果報告会前に PowerPoint 作成やプレゼンテーションの発表についてフォローアップ

学びの集大成を発表する成果報告会へは、不安を示す受講生がみられた。2 月 7 日、成果報告会の全体オリエンテーションを実施した後、2 月 14 日、2 月 21 日にも個別対応時間を設けたところ、多くの申し出があった。
プレゼンテーションが初めての受講生もみられ、経験値が多様な受講生が安心して参加できるように心がけた。

7.講座一覧

京都女子大学
リカレント教育課程

マネジメント入門コース

科目紹介 | 履修モデル | 募集要項 | よくある質問

2025年度　マネジメント入門コース科目概要紹介（予定）

提供機関	領域	科目名	時間	コマ数	授業形態
合同	その他	入校式・オリエンテーション	2.5	ー	ハイブリッド
京都女子大学	キャリアのマネジメント	ライフキャリアデザイン（キャリアについて）	3	90分×2	オンライン（Zoom）
	「人」のマネジメント	人的資源管理	7.5	90分×5	オンデマンド
	「組織」のマネジメント	組織マネジメント	9	90分×6	オンデマンド
		ロールモデルセミナー：企業女性リーダー	1.5	90分×1	オンデマンド
日本女子大学	「時間」のマネジメント	タイムマネジメント講座（東京商工会議所連携講座）	5.5	1日講座 5.5時間	オンライン（Zoom）
福岡女子大学	戦略的思考とリーダーシップ	イノベーション・マネジメントとデザイン思考Ⅰ	4.5	90分×3	オンライン（Zoom）
		イノベーション・マネジメントとデザイン思考Ⅱ	4.5	90分×3	オンライン（Zoom）
椙山女学園大学	ファイナンス	ファイナンス入門	4.5	90分×3	オンライン（Zoom）
NTT西日本	DX社会への理解	AIリテラシー	7.5	90分×5	オンデマンド
京都女子大学 宮城学院女子大学 女性教育機関	ジェンダー平等と 男女共同参画社会	ジェンダーダイバーシティ入門　第1回 京都女子大学学長提供講座	6	90分×4	オンライン（Zoom）
		ジェンダーダイバーシティ入門　第2回 国立女性教育会館提供セミナー			
		ジェンダーダイバーシティ入門　第3回 宮城学院女子大学提供講座			
		ジェンダーダイバーシティ入門　第4回 （公財）市川房枝記念会　女性と政治センター提供セミナー			
京都女子大学	シンポジウム（選択）	京都女子大学リカレントシンポジウム	3	ー	ハイブリッド
合同	職場見学（選択）	NTT西日本（大阪）・就労支援施設（横浜/福岡）	5	1日各見学先で 5時間程度	対面
合同	その他	選択演習(ライフキャリアデザイン講師)	1.5	90分×1	オンライン（Zoom）
		成果報告会演習	1	60分×1	オンライン（Zoom）
		成果報告会・修了式	4	4時間／日	ハイブリッド
			総時間数	70.5	

※ハイブリッド：対面（大学での受講）かリモート(Zoom)どちらでも参加できる講義形態です。
※職場見学会は、選択科目です。（必須科目ではないので、選択されなくても構いません。）

8.時間割

2025年度　マネジメント入門コース　リモート科目時間割（予定）注意：日程は、今後変更になる可能性があります

日程	1講時	2講時（10：35~12：05）	3講時（13：00~14：30）	4講時（14：45~16：15）
10/25（土）	入校式(10:00~)	オリエンテーション ※ハイブリッド	ジェンダーダイバーシティ入門① (京都女子大学学長)	自己紹介・交流会 ※ハイブリッド
11/8（土）	←タイムマネジメント講座（東京商工会議所連携講座）※10:00~16:30 (休憩1h) →			
11/10（月）	←(株)kaien 職場見学会（選択）→			
11/15（土）		ライフキャリアデザイン①	ライフキャリアデザイン②	
11/17（月）	←(株)カムラック 職場見学会（選択）→			
11/22（土）		ジェンダーダイバーシティ入門② (国立女性教育会館)	ロールモデルセミナー ※ハイブリッド	
11/25（火）	←西日本電信電話(株) 職場見学会（選択）→			
11/29（土）		←イノベーション・マネジメントとデザイン思考Ⅰ　（福岡女子大学）→		
12/6（土）		←イノベーション・マネジメントとデザイン思考Ⅱ　（福岡女子大学）→		
12/13（土）			京都女子大学リカレントシンポジウム 13:00~15:00 シンポジウム（対面・録画） 15:15~16:15 交流会（対面参加者のみ）	
1/10（土）		ジェンダーダイバーシティ入門③ (宮城学院女子大学)	ファイナンス入門① (桃山女学園大学)	選択演習 (ライフキャリアデザイン講師)
1/24（土）		ファイナンス入門② (桃山女学園大学)	ファイナンス入門③ (桃山女学園大学)	
2/7（土）		ジェンダーダイバーシティ入門④ (（公財）市川房枝記念会　女性と政治センター)	成果報告会演習	
2/28（土）			成果報告会/修了式（13:00~16:30） ※ハイブリッド	

※ハイブリッド：対面（大学での受講）かリモート(Zoom)どちらでも参加できる講義形態です。

＊時間割は、変更される場合がありますのでご了承ください。

●オンデマンド授業公開（詳細は受講生専用ページ参照）

科目	回数	公開予定
組織マネジメント	90分x6回	10月より順次
人的資源管理	90分x5回	11月下旬より順次
AIリテラシー(NTT西日本)	90分x5回	10月全ての講座を公開

9.シラバス

ライフキャリアデザイン

2025 マネジメント入門コース

科目名	ライフキャリアデザイン
開講日程（学期・曜日・講時）	11月15日（土　2講時・3講時）
担当者	桝中　美佐

副題	人生の転機から、自分らしいキャリアの視点を獲得する		
授業の到達目標	自己理解を深め、自分の価値観や強みを再確認し、今後のキャリアにおいて何をしたいのか、何をするべきかが明確になっていること。また、その方策を理解し、実践する力を養うことができていることを目指します。		
授業の概要	過去の経験と現在の状況を振り返り、自己理解を深めることで、今後のキャリアを考える視点を提供します。キャリアデザインの基本を学び、将来に向けた柔軟な視点と行動のヒントを得ることを目的としています。		
授業の計画	第 1回　【 11/15（土）】	ライフキャリアデザインの重要性と自己理解	
	第 2回　【 11/15（土）】	未来の自分を描く	
評価方法	評価項目	配分(%)	評価の観点
	授業への参加	70	ワークショップやディスカッションへの積極的な参加
	授業課題	30	課題提出
履修生へのメッセージ	キャリアを考えること＝生き方を考えること。 自分らしいライフキャリアについて考える大切な時間を持ちます。 過去・現在・未来に想いをめぐらせて、仲間とも大いに語り合い、自分らしく働くためのヒントを得てください。		
教科書	購入が必要な図書や教材はありません。		
参考書			

人的資源管理

2025【マネジメント入門コース】

科目名/授業形態	人的資源管理/オンデマンド
開講日程（学期・曜日・講時）	11月1日以降 5回 不定期アップ
担当者	小椋幹子

副題	組織と「人」との幸せな関係とは		
授業の到達目標	①人的資源の主要な概念や考え方を理解できるようになること、②今後の日本企業の人的資源管理について自分なりの意見が述べられるようになること、③①②を習得することで、メタ視点をもち、自分のエンプロイアビリティ（雇用され得る力）を高める一助とすること。		
授業の概要	「人的資源」は４つの経営資源（ヒト、モノ、カネ、情報）のうちのひとつであり、「人的資源管理」とは、組織としてのパフォーマンスをあげ、個人の成長をもたらすための営みといえます。本講義では、個人と組織の幸せな関係を考えるとともに、女性のキャリアにプラスになるような新しい働き方や学び、キャリア管理についても触れていきたいと思います。		
授業の計画	第 1回	イントロダクション～戦略的人的資源とは～	
	第 2回	日本企業の人的資源管理の特徴と課題	
	第 3回	組織的関与と従業員の学びの継続（経験学習、越境学習、学習転移等）	
	第 4回	ハイパフォーマーの行動特性とチームワーク	
	第 5回	人的資源管理とリーダーシップ ～サーバントリーダーシップ～	
評価方法	評価項目	配分(%)	評価の観点
	最終簡易テスト(レポート)	100%	基本概念が理解できているか
履修生へのメッセージ	この講義を「組織や企業（雇用する側）からの視点を獲得し、個人の（ワークライフ＆スタディバランス）をはかり、組織のパフォーマンスをあげること」を考えるきっかけにしてください。		
教科書			
参考書	『人的資源管理』上林憲雄著、中央経済社、２０１６年		

組織マネジメント

2024【マネジメント入門コース】

科目名/授業形態	組織マネジメント/オンデマンド
開講日程(学期・曜日・講時)	10月中旬より順次アップ
担当者	藤原浩一

副題	自分自身と皆が生き生きと働くために	
授業の到達目標	組織の上に立つ人は、組織に働く人々の心理をよく理解し、組織のあり方と構造を設計しつつ、企業の活動目的と結びつけるように組織をマネジメントする必要があります。本授業ではその基本的な考え方を体系的に学ぶことを通じて、よき組織マネジメントの実践者、リーダーとなることを目標とします。	
授業の概要	第1～3回は組織マネジメントを考える基礎を学びます。第1、2回は組織設計や構造など、組織マネジメントを理解するための基礎理論を学びます。第3回は人間心理面からの組織マネジメントを学習します。第4回は第1～3回を踏まえて、会社全体の視点からの組織マネジメントについて、特にコーポレート・ガバナンスとリスク・マネジメントの視点から総括します。第5回は実際の優れた企業事例の紹介をします。第6回はこれから10年先を見据えた組織マネジメントのあり方を考えます。	
授業の計画	第　1　回	組織とは何か？　(組織は戦略に従う？:組織構造の基本類型、GM型からアジャイル、チーム型まで)
	第　2　回	組織マネジメントの基礎理論の体系的整理(テイラーのストップウォッチサイエンスから現代まで)
	第　3　回	組織に働く人の心のマネジメント　(新しいリーダーシップ、矛盾した心理のマネジメント、心理的安全性等)
	第　4　回	組織行動とコーポレートガバナンスの重要性(組織文化、集団愚考、自滅する組織等とコーポレート・ガバナンス、全社視点のリスク・マネジメント(ERM)の重要性)
	第　5　回	優れた組織マネジメントを実行できている企業の研究(キヤノンの戦う間接部門、Appleのエコシステム、リクルートの心理学組織マネジメント、三菱商事のリスクマネジメント等)
	第　6　回	人間社会における企業組織が果たす役割 (ESG,SDGs,CSV,CSRを戦う力にする視点)
評価方法	評価項目	評価の観点
	中間簡易テスト(レポート)	何を学び考えるべきと思ったのか、自分なりの簡潔なレポート(A4、1枚以内)
	最終簡易テスト(レポート)	中間簡易レポートの総括
	授業の達成度	授業を受ける前と受けた後での自分の中での変化を自己評価する。特に知識を得ることで見えるようになったことを確認する。
履修生へのメッセージ	一度組織に属して働くとその組織以外のことはよくわからないかも知れません。他の会社組織も同じなのでしょうか。IT企業の組織マネジメント、銀行や製造業の組織マネジメントは同じではありません。大企業の組織マネジメントから中小企業が学ぶべきことがあります。逆に規模の小さな組織から大企業が学ぶべきことがあります。より良い組織とはどのようなものか、授業を通じて追求して参りましょう。	
教科書	指定なし。	
参考書	S.クレイナー「マネジメントの世紀1901-2000」東洋経済新報社、2000年	

ロールモデルセミナー①

2025 マネジメント入門コース

科目名	ロールモデルセミナー（企業女性リーダー）【ハイブリッド】
開講日程（学期・曜日・講時）	１１月２２日（土）３講時
担当者	筒井万衣子

副題	～失敗から学ぼう！～ 女性が自分らしいリーダーになるために～		
授業の到達目標	１．キャリアデザインの重要性を認識すること ２．完璧でなくて構わない、等身大のリーダーシップの模索・確立		
授業の概要	管理職として企業で働いた自身の経験や失敗と、それをどのように乗り越えたかを考察		
授業の計画	１１月２２日（土） ３講時	①講義：キャリアデザイン、リーダーシップ、 逆境での心の持ち方と行動について ②グループディスカッション	
評価方法	評価項目	配分(%)	評価の観点
	授業への参加	90	自律的に学ぶ姿勢、積極的な発言、他者との協調
	授業課題	10	受講後に作成するアンケート
	その他（　　）		
履修生へのメッセージ	「管理職になるのが怖かった。でも、やってみたら私にもできた！」 企業の現役女性管理者の、失敗談を含めた等身大のリアルな日常を疑似体験することで、 皆さんそれぞれの「自分らしいリーダーシップ」を見つける旅にでましょう。		
教科書			
参考書			

タイムマネジメント講座

2025 マネジメント入門コース

科目名	タイムマネジメント講座（東京商工会議所連携講座） 【オンライン】
開講日程（学期・曜日・講時）	11月8日 （土）10時～16時30分（休憩１時間）
担当者	水口　和彦

副題	ビジネスパーソンのための時間術講座
授業の到達目標	生産性向上や時間外労働削減を求められる職場において、限られた時間を有効活用し、仕事とプライベートを両立しながら成果を生み出すスキルを身に付けることを目指します。
授業の概要	毎日発生するさまざまなタスクを効率的に整理しながら仕事量をコントロールする方法や、突発的に飛び込んでくる仕事への対処法、効率的なメールの処理方法など、実務に直結する時間術を具体例を交えて解説します。
授業の計画	1．タイムマネジメントとは ・タイムマネジメントとは？ ・スケジュール管理からタイムマネジメントへ 2．効果的なタイムマネジメントの手法 ・時間を可視化する：アポイントメントの管理 ・行動として計画する：タスクの管理・可視化 ・タスクが発生したときの判断基準 ・「仕事」は分割して「タスク」にする ・予定外の仕事による問題点と対策 ・簡単にできる「時間の使い方」のふり返り 3．タイムマネジメントの応用 ・長期的な仕事と短期的な仕事の両立 ・負担にならない進捗管理の方法 ・タイムパフォーマンスを高める習慣：メール ・テレワーク･オンラインで起こる問題点と対策 ・効率的な会議を行うために 4．問題点の把握と対策案の検討 ※講義はグループワーク等を交えて交流参加型で進めます。

評価方法	評価項目	配分(%)	評価の観点
	授業への参加		
	授業課題(現状の問題点と対	100%	基本概念の理解と改善への意識など
	その他（　　）		

履修生へのメッセージ	タイムマネジメントと聞くと「難しそう」「大変そう」と思うかもしれませんが、それはやり方しだいです。この講座では手間をかけずに実行できて、突発の仕事にも柔軟に対応できるタイムマネジメントの方法を紹介します。ぜひご受講ください！
教科書	講師作成のオリジナルテキスト
参考書	無し

イノベーション・マネジメントとデザイン思考Ⅰ

2025 マネジメント入門コース

科目名	イノベーション・マネジメントとデザイン思考Ⅰ【オンライン】
開講日程（学期・曜日・講時）	１１月２９日（土）
担当者	品川　啓介

副題	デザイン思考の基本を体験する		
授業の到達目標	基礎的なデザイン思考を用いて、新規事業案を発想する手法を身に付ける		
授業の概要	多くの組織は既存事業の改善は慣れていると思いますが新規事業（イノベーティブなもの）の立案には手をこまねくこととことは多いのではと思います。まずは着手する自信を身に付けるために、基本的なデザイン思考法（アイデアの発想法の一つ）を体験、ビジネスモデルに落とし込む手法を考えます。その後近年の有力とされるアイデア発想法比較し夫々の特徴を探ります。		
授業の計画	２講時	デザイン思考を体験する	
	３講時	デザイン思考で生まれたアイデアを ビジネスモデルに落とし込む	
	４講時	近年のアイデア発想法（デザイン思考、アート思考など） を比較する	
評価方法	**評価項目**	**配分(%)**	**評価の観点**
	授業への参加	70%	ディスカッション、グループ発表に対する授業貢献度
	授業課題	30%	それぞれの解釈で良いので筋立てて表現できたか
	その他（　　）		
履修生へのメッセージ	最近、デザイン思考、アート思考といった言葉を良く耳にしませんか？ イノベーティブなアイデアの発想法です。これらを含む、アイデアの発想に関わる研究の歴史は浅く、まだ発展の段階です。このため今が追いつくチャンスです。これを機会に、そのエッセンスを学んでみませんか？楽しいワークから始め、理論を学び、ビジネスモデルへの落とし込み方もディスカッションしましょう。		
教科書	講師の資料を中心に進めます		
参考書	講師が参考資料を用意します		

イノベーション・マネジメントとデザイン思考Ⅱ

2025 マネジメント入門コース

科目名	イノベーション・マネジメントとデザイン思考Ⅱ【オンライン】
開講日程（学期・曜日・講時）	１２月６日（土）
担当者	品川　啓介

副題	理論・事例を体系的に学ぼう		
授業の到達目標	イノベーションの事例を分析できる		
授業の概要	多くの組織は既存事業の改善は慣れていると思いますが新規事業（イノベーティブなもの）の立案には手をこまねくことことは多いのではと思います。これに着手する自信を身に付けることを目的に、学術的な側面からイノベーションとは何か、どのような種類（＆特徴）があるかを学び、事例を皆さんと分析します。最後に各発想法の運用方法との関連性を見出します。		
授業の計画	2 講時	イノベーションって何だろう	
	3 講時	イノベーションの事例を分析する	
	4 講時	イノベーション＆デザイン思考を 踏まえてマネジメントを考えよう	
評価方法	評価項目	配分(%)	評価の観点
	授業への参加	30%	ディスカッション、グループ発表に対する授業貢献度
	授業課題	70%	それぞれの解釈で良いので筋立てて表現できたか
	その他（　　）		
履修生へのメッセージ	日本に住む人々は昔から工夫がとても好きで多くのイノベーションを生み出してきました。そんな日本も最近ではこれがやや停滞している感があります。その一方でが、欧米ではどんどん躍進していようですがその背景にはイノベーション・マネジメントを扱う大学が増えたことがあります。そこで、なじみの薄い方にもわかりやすく解説しその楽しさを届けたいと思います。		
教科書	講師の資料を中心に進めます		
参考書	コア・テキストイノベーション・マネジメント近能善範, 高井文子著 （ライブラリ経営学コア・テキスト, 12）新世社 , サイエンス社		

ファイナンス入門

2025 マネジメント入門コース

科目名	「ファイナンス入門」【オンライン】
開講日程（学期・曜日・講時）	1月10日3講時・1月24日2講時～3講時
担当者	瀧澤　創

副題	なぜファイナンスが重要なのか？		
授業の到達目標	1. 現在価値、将来価値を理解する。 2. リスクとリターンの概念を理解する。 3. 株式の基本を理解する。		
授業の概要	ビジネスでのファイナンスの重要性を確認する。時間的価値を考慮した現在価値・将来価値の考え方を学んだ後、リスクとリターンの基本概念と計算方法を学習する。株式入門として、株式会社や株式市場の枠組みを概観するとともに株式の期待リターンに関する考え方を学ぶ。		
授業の計画	第　1回【1／10（土）】 3講時	現在価値と将来価値	
	第　2回【1／24（土）】 2講時	リスクとリターン	
	第　3回【1／24（土）】 3講時	株式入門	
評価方法	評価項目	配分(%)	評価の観点
	授業への参加	20	積極的な質問を歓迎します。
	授業課題	80	授業の理解度を確認します。
	その他（　　）		
履修生へのメッセージ	ファイナンスの基本概念を理解することは、今後のライフキャリアとプロフェッショナルキャリアの双方に役立つでしょう。本講義では難しい数学は使いませんが、簡単なファイナンスの計算問題を一緒に解くことで、ファイナンスの概念をより身近に感じて頂ければと思います。		
教科書	指定しない		
参考書	斎藤正章・阿部圭司　『ファイナンス入門』 放送大学振興会 砂川伸幸 『コーポレートファイナンス入門』 日経文庫		

AI リテラシー

2025 マネジメント入門コース

科目名	AIリテラシー
開講日程（学期・曜日・講時）	オンデマンド
担当者	NTT西日本　大林正人

副題	AIを理解し恐れずに向き合い活用するために		
授業の到達目標	1. AIの成長と社会の変化との関係を理解し、AIと人間との関係や課題を考える。 2. AIの基本的な仕組み、機械学習やディープラーニングなどの技術の基本を理解する。 3. 現代社会におけるAIの活用事例を理解する。 4. 生成AIの仕組みと業務における活用方法を理解する。		
授業の概要	人手不足、DXなど経済環境が変化する中で、AIの活用による課題解決が必要とされ、AIは既に様々な業界で活用されております。そこで、業務においてAIと向き合うための基本的な知識として、AIと社会との関係、AIの基本的な仕組みや、AIの活用事例を学びます。またChatGPTなどの生成AIの仕組みと業務への活用についても学びます。		
授業の計画	第 1回	AIの成長と社会・人間との関わり	
	第 2回	AIの基本知識とキーワード	
	第 3回	AI活用事例を業種別にみる	
	第 4回	生成AIの仕組みと活用方法 (1)	
	第 5回	生成AIの仕組みと活用方法 (2)	
評価方法	評価項目	配分(%)	評価の観点
	授業への参加	ー	
	授業課題	70	AIを知るための重要ポイントの理解度
	その他（最終課題　　）	30	AIを理解し自ら向き合い方を考えられる力
履修生へのメッセージ	「AIを業務で活用したいが、わからないままに使うのは不安だ。」「AIは万能で人間に取って代わる存在なのか？」－AIについて漠然とした疑問や不安をお持ちの方も多いかと存じます。この機会にAIの私たちの社会との関わり、基本的な仕組み、活用事例、そして次世代技術を学ぶことで、少しでも疑問や不安を解消し、AIと前向きに向き合い、自ら業務における活用法を考えられる力を身に付けていただければと思います。		
教科書	NTT西日本制作（配信）		
参考書	指定しません。		

ジェンダーダイバーシティ入門①～④

2025 マネジメント入門コース

科目名	ジェンダーダイバーシティ入門
開講日程（学期・曜日・講時）	10/25（土・3講時）・11/22・1/10・2/7（土・2講時）
担当者	代表：竹安　栄子

副題	ジェンダー視点からみた日本の現状		
授業の到達目標	ジェンダーに関する基本的知識の修得とジェンダー視点からみた日本の現状を学ぶことにより、自らが就労することが、個人の自己実現に留まらず市民としての役割遂行という社会的意義をもつことを認識する。		
授業の概要	ジェンダー概念の整理、ジェンダー平等の実現が社会の持続的発展に持つ意義の確認、世界との比較の視点からみた日本社会のジェンダー格差の現状などの総論に続いて、ジェンダー視点からの様々な情報収集の方法、地域社会におけるジェンダー平等の意義、政治領域における女性の政治参画の現状の各論を学ぶ。		
授業の計画	第 1回　【 10 /25（土）】 3講時：竹安栄子	女性のためのリカレント教育の意義	
	第 2回　【 11/ 22（土）】 2講時：渡辺美穂	ジェンダー視点と女性のエンパワーメント	
	第 3回　【　1/10（土）】 2講時：天童睦子	地域女性とリーダーシップ	
	第 4回　【　2/ 7（土）】 2講時：大川巳寛子	女性と政治　～地域のリーダーとなるという選択～	
評価方法	**評価項目**	**配分(%)**	**評価の観点**
	授業への参加・課題提出	100%	授業参加と各講師からの課題提出
	授業課題		
	その他（　　）		
履修生へのメッセージ	2025年のジェンダーギャップ指数が118位（168ヶ国中）と日本は男女格差の大きさで世界最低レベルです。日本で暮らしていると当たり前と思っている男女の役割格差も、世界の多くの国では解消されつつあります。何よりも問題なのは、人口縮小時代に突入する日本にとって労働分野の男女格差の解消が喫緊の課題である、という認識が社会で共有されていないことです。本学リカレント教育課程で学んだ成果を生かして皆さんが意欲的に社会で活動されることは、個人の幸せにつながるだけでなく、日本社会の持続的発展に寄与するのだとの認識を深めてださることを期待します。		
教科書	指定せず（各講師資料）		
参考書	指定せず		

成果報告会

2025 マネジメント入門コース

科目名	成果報告会【ハイブリッド】
開講日程（学期・曜日・講時）	2月28日（土）13:00～16:30 を予定（演習：2月7日（土）3講時）
担当者	リカレント教育課程事務局

副題	テーマ：リカレントでの気づきが導く新しい一歩		
授業の到達目標	「聞き手に伝わる」発表をするために、構成力、視覚資料の使い方に工夫し、自信を持って発表する力をつける。（自分の考えを分かりやすくまとめ、効果的に伝える力をつける。） 資料作成を通して、リカレント教育課程での学びについて振り返り、今後、学びをどう活かしていくのかを思考する。		
授業の概要	本講座では、リカレント教育課程での学びを振り返り、自身の変化や気づきを整理・共有することを目的にPowerPointを用いた個人発表ををを行います、受講生一人ひとりが発表資料を作成し、成果報告会に向けたプレゼンテーションに取り組みます。 プレゼンテーション能力は、今後マネジメント力やリーダーシップ力を発揮するうえで重要なスキルです。これまで発表経験のない方にも配慮し、準備や練習の機会を設けます。他の受講生の発表を通じで多様な視点に触れ、自身の成長を実感できる機会とします。		
授業の計画	2月7日（土）3講時	演習　PowerPointの作成、発表方法などについて質問をコーディネータ	
	2月22日（土） 13:00～16:30 位を予定	ひとりひとりが、資料を元に発表。（プレゼンテーションを行う。） 出席の講師、来賓から、総評をいただく。	
評価方法	**評価項目**	**配分(%)**	**評価の観点**
	出席と発表 （プレゼンテーション）	100%	発表資料の提出、対面orリモートでの成果報告会への出席が条件。
履修生へのメッセージ	成果報告会はハイブリッド方式での開催を予定しています。昨年度は9割の受講生が大学に集まり、直接顔を合わせて、大変盛り上がる機会となりました。今年もご無理の無い範囲で、リアルでの交流が出来れば嬉しく思います。 このコースは、様々な経歴やバックグラウンドを持つ方が受講されています。プレゼンテーション経験も人それぞれですが、未経験でも全く心配はいりません。初めての方にも分かりやすく学べるよう、サポートしていきますので、遠慮なく質問してください。 皆さん一人ひとりが、ご自身の学びや思いを伝い合える時間になるよう、一緒に準備していきましょう。		
教科書	指定教科書はありませんが、パワーポイント資料の作成などについて、必要な場合 はレクチャーを行います。		
参考書	特になし。		

10.主な広告媒体

①ホームページ

リカレント講座の詳細、応募、ニュースによる活動報告まで、広告媒体として有効に活用した。



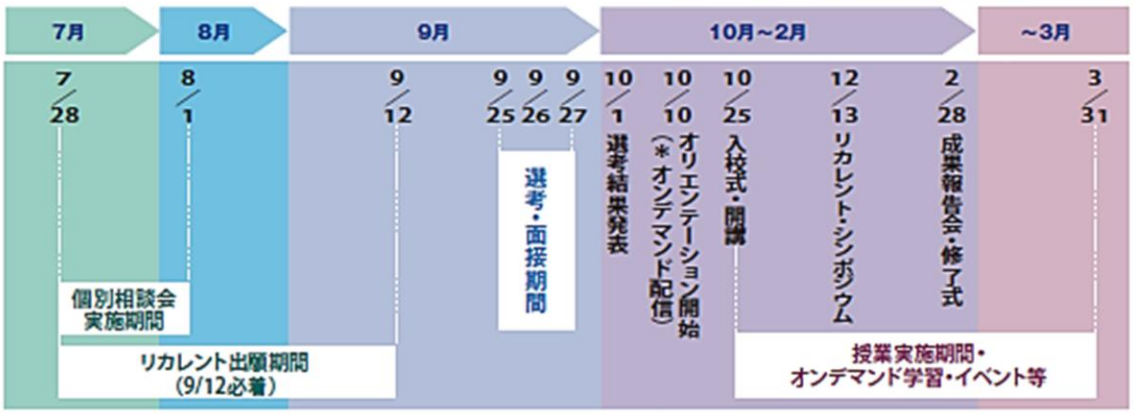
②リーフレット（表）

連携先企業への配布を中心に、ホームページへの誘導をはかった。



リーフレット（裏）

スケジュール（予定）



※開講科目・スケジュールの予定は変更となる場合があります。

募集要項

1．募集定員A	25名 ※60時間履修証明プログラムです。所定の履修要件を満たした場合には履修証明書・オープンバッジを交付します。
2．応募資格	①高校卒業以上の学力があると認められる者で、就業経験のある女性。 ②基本的なパソコン運用能力（マウス・キーボード操作がスムーズであり、Excelでの四則演算や基本関数を煩雑なく扱えること）を有すること。 （学校教育法に定める学校に在学する者は履修不可）
3．講座開講期間	2025年10月25日（土）～2026年2月28日（土） （オンデマンド学習は、3月31日まで視聴可能。） ※講座開講前のオリエンテーションはオンデマンドで実施。 ※時間割や科目等詳細は、ホームページ（https://rccp.kyoto-wu.ac.jp/rccp/recurrent/）でご確認ください。
4．履修料（管理費）	10,000円　（2025年度限り）
5．出願書類	①「京都女子大学 リカレント教育課程」履修申込書 ※様式は、ホームページからダウンロードの上、Wordで作成してください。また、出願書類作成のほか、ホームページからのエントリーも必要です。 ②最終出身学校の卒業証明書 ※出願書類に関する注意事項 ・いったん受理した出願書類はいかなる理由があっても返却いたしません。 ・出願書類に虚偽の記載があった場合、選考及び履修の資格を失います。 ・書類不備の場合は、受付できません。 ※卒業証明書の任名が、ご結婚前の旧姓となっていても問題ありません。最終出身学校の夏休みと重なる等、何らかの理由で発行が遅れる場合は、先に他の応募書類をご提出いただいても、応募を受け付けます。（その場合は、卒業証明書は、後日発送と、応募書類に別途書いたメモを入れていただくようお願いします。）
6．出願期間	2025年7月28日(月)～9月12日(金)必着
7．出願方法・出願先	封筒の表に「リカレント教育課程履修申込書在中」と明記し、出願書類①②を同封し、簡易書留で送付してください。（持参不可） 出願先：〒605-8501　京都市東山区今熊野北日吉町35 京都女子大学 連携推進課 リカレント教育係宛
8．選考方法	書類審査（履修申込書の内容）と面接による
9．面接日（オンライン）	2025年9月25日(木)・26日(金)・27日(土)の本学が指定した日時
10．選考結果発表	2025年10月1日（水）※選考結果通知を発送
11．履修手続	履修手続期間に履修料（管理費）を納入し、必要書類を提出してください。 【履修手続期間】 2025年10月6日（月）～10月21日（火）消印有効 ※納入された履修料（管理費）については、原則いかんによらず返金いたしません。 ※必要書類については、選考結果通知時にお知らせいたします。
12．その他	・履修を許可した方には、本学発行のリカレント教育課程履修生証を交付いたします。本学キャンパスに入構する際には必ず携帯してください。 ・リカレント教育課程履修生は、本学学生と同様に図書館・食堂・購買・書店の利用が可能です。ただし、通学定期券の購入はできませんのでご注意ください。 ・授業科目によっては教科書や教材等、各自で購入が必要な場合があります。あらかじめご了承ください。（詳細は、授業担当者より授業の際にお知らせいたします。） ・このコースはオンデマンドとオンライン授業の併用であるため、自宅にインターネットの環境やパソコン等、動画を視聴できる環境が必要です。

科目一覧（予定）

提供期間	領域	科目名	授業形態
合同	その他	入校式・オリエンテーション	ハイブリッド
京都女子大学	キャリアのマネジメント	ライフキャリアデザイン（キャリアについて）	オンライン（Zoom）
	「人」のマネジメント	人的資源管理	オンデマンド
	「組織」のマネジメント	組織マネジメント	オンデマンド
		ロールモデルセミナー：企業女性リーダー	オンデマンド
日本女子大学	「時間」のマネジメント	タイムマネジメント概論 （東京商工会議所連携講座）	オンライン（Zoom）
福岡女子大学	戦略的思考とリーダーシップ	イノベーション・マネジメントとデザイン思考Ⅰ	オンライン（Zoom）
		イノベーション・マネジメントとデザイン思考Ⅱ	オンライン（Zoom）
福山大学国大学	ファイナンス	ファイナンス入門	オンライン（Zoom）
NTT西日本	DX社会への理解	AIリテラシーⅴ	オンデマンド
京都女子大学 京都学院女子大学 女性教育協議会	ジェンダー平等と男女共同参画社会	ジェンダーダイバーシティ入門　第1回 京都女子大学学長講座	オンライン（Zoom）
		ジェンダーダイバーシティ入門　第2回 国立女性教育会館提供セミナー	
		ジェンダーダイバーシティ入門　第3回 京都学院女子大学提供講座	
		ジェンダーダイバーシティ入門　第4回 （公財）市川房枝記念会　女性と政治センター提供セミナー	
京都女子大学	シンポジウム（選択）	京都女子大学リカレントシンポジウム	ハイブリッド
合同	職場見学（選択）	NTT西日本（大阪）・就労支援施設（横浜／福岡）	対面
合同	その他	成果報告会演習	オンライン（Zoom）
		成果報告会・修了式	ハイブリッド

※詳細はホームページをご覧ください。

RCCP
The Research Center of Community Partnerships

■お問合せ先：
京都女子大学 連携推進課・地域連携研究センター
〒605-8501　京都市東山区今熊野北日吉町35
https://rccp.kyoto-wu.ac.jp/rccp/recurrent/
TEL：075-531-7080　Mail: renkei@kyoto-wu.ac.jp